



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和元年8月26日 NO.5

(写真は8月7日撮影)

大平森林公園:大平堤の蓮とカモ



「新学習指導要領実施を目前に控えて」

教育センター嘱託指導主事 早田秀夫

いよいよ小学校では来年度から、中学校では再来年度から、新しい学習指導要領が完全実施されます。この新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組むよう示されています。すなわち、これまでの教師主導の授業ではなく、児童生徒が主体の授業に変えなければならないという理念です。大変立派で素晴らしいことであると思いますが、少し不安もあります。

「内外教育」第6741号の”ラウンジ”という記事を少し紹介したいと思います。『「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」これを文面通りに解釈すれば、授業で児童生徒が対話する場面を増やせば、主体的に深く学んでいるということになる。最近、授業の基本である導入・展開・まとめの流れを軽視した「対話活動ありき」の授業が増えてきており、懸念している。対話活動の授業では、授業が盛り上がり、主体的な学習がなされているよう

に見える。しかし、その中身がすべて学びに関することなのかどうか？議論の深まり具合が児童生徒任せになっている面も否めない。また、集団の中には、ついていけない児童生徒もいる。集団での学びが続けば、児童生徒間の序列が固定し、逃げ場のない劣等感を与えてしまう…等々』という内容です。

まさに、一昔前の「這い回る〇〇教育」と同じ道をたどってしまうのでしょうか。

いくら児童生徒が主体の授業といっても、教師が綿密に計画し、コントロールしなければなりません。授業の要所要所での的確な発問、解説、さらなる発問…。児童生徒に本物の興味関心をもたせましょう。もちろん見附市の各学校は、十分準備されていることと思いますが、老婆心から…。



コラム 『若い教師に学ぶ』—教育は学校生活のすべてで—

◇前号で、「困り感を持つ子どもへの処方箋は教師の笑顔・・・、笑顔で子どもに接することが大事だ」と書きました。教育に限らず、笑顔はどんなことでも大切です。8月初旬、この笑顔の効能を知らしめるニュースに嬉しくなりました。それはプロゴルファーの渋野日向子選手(20)が『A I G全英女子オープン』で優勝したことです。渋野選手はどんな状況の中でも笑顔を絶やさずにプレーをして、勝機を引き寄せて優勝しました。

新聞各紙は「日向子スマイル満開」「笑顔は世界共通。笑顔でやったら結果に出る」「笑顔のシンデレラ 凱旋」などの見出しで連日、満面の笑みの写真と共に報じました。その後も、笑顔でプレーする渋野選手を見ると、元気をもらい応援したくなります。

笑顔は、人を惹き付けたり、励ましたり、元気にしたりと素晴らしい力があります。◇さて、このセンターだよりは、毎号「4時から夢塾」の講座を載せています。今号は樋熊則子先生(3頁)と小林恵子先生(4頁)ですが、指導内容と写真で紹介をしています。写真が小さく恐縮ですが、講師も受講者も皆、笑顔です。授業と同じで良い講座、良い指導は笑顔あふれるものです。講師の力量の高さに毎回、大きな感動を頂いています。◇また前号で「担任の指導や支援が上手く届かない姿も目にし・・・」と、担任が苦勞をされている様子も記しました。それは私が「師がく」で、一時間参観させていただいた授業では、指導や支援が入らない子どもへの対応に困られている姿でしたが、後日、こんな姿も見ました。Aさんへの指導に悩まされていたB先生が、昼休みにAさんと校庭で触れ合っていたのです。それも最高の笑顔で、Aさんと触れ合っている姿です。

◇私は「師がく」で訪問すると、子どもたちの昼休みの過ごし方が見たくて、体育館に行ったり図書館に行ったり、廊下から各教室をのぞいたり、校内をブラブラします。その時に、若いB先生とAさんの姿を見つけたのです。自然と嬉しくなり、私も笑顔になりました。B先生は素晴らしい先生だと思います。B先生の姿に学びました。授業ばかりでなく、休み時間での触れ合いや会話が子どもの心には響きます。日々、困り感を抱える子どもの対応に、大変さの連続だと思います。それでも、諦めずにスキンシップや笑顔の触れ合いを一つ一つ積み重ねていくことでしか、子どもの心や学びの成長はないと思います。授業で確かな学力を付けることは大事です。それと同じように、学校生活のすべてで、子ども一人一人と笑顔で触れ合うことも、とても大切なことです。(こ)

巻頭写真に寄せて - 体験塾「刈谷田川の学びとEボート体験」 -



◇夏休み期間中に、小学生を対象にした「わくわく体験塾」が、172講座開催されたことをご存じですか。講座によって定員は異なりますが、のべ7825名の子どもが応募をし、夏休みの一日(一講座は泊を伴うもの)、様々な体験をして充実の時間を過ごしたに違いありません。暑い中、子どもたちの体験学習に関わって頂いたすべての関係の皆さんに、大きな感謝を申し上げます。

【伝承館での学び】 ◇さて、8月7日に「刈谷田川の学び・・・」体験講座が実施されました。講座内容は、みつけ伝承館やパティオにいがたで刈谷田川の歴史を学び、大平森林公園で昼食を取り、嶺崎橋付近でEボートの乗船体験をするというものでした。ところが、私は「Eボート体験は大平堤でやるに違いない」と勝手に思い込み、大平森林公園に出かけ待っていたのです。ところが、待てど暮らせど子どもたちはやって来ません。代わりに!?!「蓮の花とカモ」を撮りました。

＜4時から夢塾＞ -感情や行動をコントロールする力を育てる支援-

第六回の4時から夢塾は7月29日(月)に、三条市立裏館小学校の発達障害通級指導教室の樋熊則子先生から、表題のテーマで指導を頂いた。



1 通級している子どもたち

- ・衝動性が強い ・集中の持続が短い ・コミュニケーションの取り方がわからない ・体の動かし方にぎこちなさが見られる ・学習の部分的な苦手さがみられる

○落ち着きがないと言われている子ども

- ・体をコントロールする力が低い ・見る力が低い ・聞く力が低い
だから ⇒ 自分の解釈で勝手な言動になる ルールに気付かない, わからない すぐ忘れる

2 発達障害通級指導教室とは

- ・思いを受け止める場所 ・願いを実現する作戦を立てる場所 ・評価をし, 自己肯定感を高める場所 ・周りの思いとのズレを埋める場所 ・保護者の思いを受け止める場所

(1) 発達障害通級指導教室で行っていること

- ・落ち着いて活動すること ・集中して聞くこと ・見ること
・スキルを身に付けること ・学習への苦手意識をなくすこと

(2) 傾聴・共感・整理

- ・出来事を最後まで聞く ~途中で質問したり, 否定をしたりしないこと
・怒りや不安を受け止める ~「俺ばかり怒られた」「知らなかった」
・具体的に行動を変えるところを決める ~自己決定を支援者の提案, お互いのズレの調整

(3) 支援を考える視点・・・30人学級で大変な人がいっぱいいるなら

- ・優先順位を決める ~後でできることは次回
・支援する場面, 行動を絞り込む ~一つの行動, 一つの場面
・具体的な目標, 支援の方法を考える ~ターゲットは一つ
・最初から完璧を目指さない ~スモールステップ



3 評価はどうするか

- (1) 自己評価 ・○×評価 ・×は追求せず事実だけの確認 ・一週間で○が多ければ良い
(2) 他者評価 ・担任から評価 ・友達の評価・・・「○○さんがこう言っていたよ」が有効

4 自己肯定感を高める ~子どものやる気を育てる

- ・できたという成功体験をする ・できるという自信を育てる ・役に立つという体験をする



＜参加者の声＞

- ・落ち着きがない子どもへのアプローチの仕方, 行動改善を図る手法や, ホワイトボードの活用法等, 新しい知見が得られた有意義な研修となった。
- ・困り感をもつ子どもの気持ちや様子がわかり, その対応の仕方も多く学ぶことができました。
- ・体, 見る, 聞くのコントロールの大切さを学んだ。静かになる瞬間を大事にしていきたい。
- ・感情や行動のコントロールには, どのような支援が有効かということが具体的にわかった。
- ・クラスですぐに使いたいと思うアイテムや取組が多くあり, 2学期からやってみたい。
- ・子どもの人数が増え対応に悩んでいたが, 自分の対応の方向性が見えてきて前向きになれた。

<4時から夢塾> -「小学校英語」授業をどのように行っていけばよいのか-

第七回の4時から夢塾は8月2日(金)に、師がく指導者の小林恵子先生から表題のテーマで、テンポのよい指導で多くの取り組みを学んだ。

本講座は、出席者全員から『参加者アンケート』で、「とても参考になった」の回答を得た。受講者の満足度満点の研修であった。

1 はじめに

学校を回ると、旧態(総合学習の中で、英語活動が行われていた頃と同じ)の授業が見られる。「遊び」から「学び」への授業を行うことが必要。効果的なTTは実施しつつ、学級担任(HRT)主体の授業を行うことが大事。

2 外国語(活動)の授業の基本

・授業は、教師と子ども同士のコミュニケーションの場であり、内容と場面設定が大切。「教える」から「子どもが考えて答える」授業を行い、発問・指示を与える時は「ほめる」ことが大事。勝敗にこだわるゲームは避け、自然に楽しく繰り返し発話できる活動を行うこと。綴り付きの絵カードや単語カードの活用をして、視覚的・構造的な板書を行うことが大事。

3 毎時間行うことで定着を図ること

- ・授業始めの挨拶 (Today is Friday, August 2nd. It's sunny. I'm hungry.)
- ・ワークシートへの氏名の記入はヘボン式ローマ字で行うこと
- ・ワークシートを配付するときの言葉かけ
(A : Here you are. B : Thank you. (A : You're welcome.)

4 子どもの集中力や推測力を高める工夫

- ・座席指定のインタビューゲーム 立って話す→会話が終わったら座る
- ・教科書は必要ときのみ使う (机上整理)
- ・絵カード(綴り付き)を掲示する順番 *英語の法則性への気付きを促す

5 演習(模擬授業)

- ・数字を用いた活動 ① 1~10の練習 ② 1~20の練習 ③ 1~60の練習
*ゲームによりペア、グループ、クラスと編制を変えて活動を行う
- ・アルファベットを用いた活動 ① 陣取りゲーム ② IOCコードゲーム
- ・否定文を用いたヒントゲーム ・ローマ字からフォニックスへ

<参加者の声>

- ・楽しくて力が付く活動や、それを行う時の配慮事項をテンポよく教えて頂き有り難かった。
- ・色々な活動を実際に体験することができた。2学期からすぐに実践できそうと感じた。
- ・ゲームは子どもが夢中になるし、必然的に発声したり視覚的に捉えたりできる。やってみたい。
- ・子どもの思考がいつも動き続けているように意識して、授業をつくりたいと思った。
- ・小学校英語だったが中学校も参考になることが多くあった。小学校との繋がりでも生かせる。



<科学教育部> 7月の活動報告

わくわく体験塾「火山灰から宝石を見つけよう」

7月30日（火）

今年のわくわく体験塾では、火山灰の中から宝石のもとになる鉱物を探しました。最初に双眼実体顕微鏡を用いて、海岸の砂と火山灰を観察しました。比較してみると、海岸の砂は粒が丸みをおびていますが、火山灰で見られる鉱物は、角ばった形をしていることがわかります。運ばれ方に違いがあり、海岸の砂は水で運ばれ角が削られます。火山灰は、風で運ばれてきたものが地層として堆積します。参加した児童も、学校で学習したことから、形が異なる理由を考えることができていました。



その後は、数種類の火山灰の中から鉱物を探して集めました。宝石ペリドットのもとになる緑色のカンランセキや、宝石サファイアのもとになる青色のキンセイセキを集めることが楽しかったようです。全部で9種類の鉱物を、火山灰の中から探しました。長岡や十日町、佐渡といった県内で採取された火山灰を観察して、身近な場所にも宝石のもとになる鉱物がたくさんあることがわかりました。



キンセイセキ
(ウォーターサファイア)

要請訪問・ゲストティーチャー

薬品管理確認補助 7月30日（火） 今町中学校
新潟小学校



夏休み中に薬品管理支援として2校訪問しました。「薬品管理台帳」「薬品管理補助簿」等は適切に管理されていました。今年度は4校訪問しましたが、どの学校でも共通して言えることは薬品の適切な配置をすることが難しいことです。各校が備え付けの薬品庫をうまく活用して管理をしていくことが必要です。危険物を分けて管理することや、地震の際に液体が薬品庫の中で倒れる可能性も考慮に入れ、主に酸性の液体物は薬品庫の下部で管理することを意識してください。薬品庫の数や大きさ等で各校での適切な管理の仕方は異なりますので、不明な点があればいつでもセンターにご連絡ください。

お知らせ～今年も「キッズフェスティバル」に参加します！～

「キッズフェスティバル」
会場：見附市中央公民館

9月28日（土） 13：00～15：00
液体窒素の科学と紙コップジャイロロケットづくり

今年度も「キッズフェスティバル」でブースを開きます。昨年、好評だった液体窒素の実験を行います。協力員の先生方にも協力してもらいます。興味がある方はぜひ参加してください！

今後の活動予定

暑い夏も終えて9月に入ると、「児童生徒夏休み作品展」や「児童生徒科学研究発表会」の参加申し込み締め切りがやってきます。ともに9月9日(月)の午後4時が締め切りです。申し込み方法は、第2回理科主任会で連絡したとおりです。よろしくお願いします。

「見附市児童生徒夏休み作品展」 会場：ネーブルみつけ	9月21日(土)～23日(月) 9:30～16:30
「見附市児童生徒科学研究発表会」 会場：見附市中央公民館	10月4日(金) 13:50～16:20

<単元別研修>

①中2 「電流とそのはたらき」	9月12日(木) 15:45～16:45
-----------------	----------------------

<要請研修>

①葛巻小学校4年生 天体観測会	8月30日(金) 19:00～20:30
②新潟小学校 4学年PTA行事 (巨大シャボン玉・スライム作り)	9月2日(月) 9:30～11:20
③上北谷小学校 科学クラブ	9月3日(火) 15:00～15:45
④新潟小学校 科学クラブ	9月19日(木) 14:45～15:40

第3回 理科主任会	9月26日(木) 15:00～16:45
-----------	----------------------

今後の単元研修会について

今後の単元研修会では多くの先生方が充実した理科の指導を行えるように、研修会テキストを基に「理科単元伝達講習シート」を作成します。

研修会テキストには、学習指導要領を基にした指導のポイントや単元の学習に関する系統性、単元内容に関する基礎知識、実験や観察の指導事項、活用を図る単元構成などを盛り込んでいます。ですが、お忙しい中ですべてに目を通していただくことが難しいのが現状です。そこで、A4サイズ1枚で単元の指導のポイントをまとめた用紙を基に、研修会に参加していただく先生方から、同じ学校で同学年を指導している先生方に伝達講習をしていただくことを考えています。

一人から二人、二人から三人と少しずつ、市内の理科の裾野が広がり、「ちょっと工夫してみようかな」「センターにある教材を借りて授業をしてみようかな」という気持ちで、必要に応じてテキストで詳しく調べていただくと、子どもにとっても教師にとっても充実した授業になると考えました。見附市内の理科指導を充実していけるようにご協力ください。

理科単元研修会伝達講習シート

単元名 小6 てこのしくみとはたらき

指導の流れ

指導のポイント

てこを体験させることでこの仕組みに考えをもたせる。またこの仕組みを学習するためには、重さを数値化することが必要であるため、スモールステップを使って重さを数値化して考えさせ、てこのきまりを子どもたちが試行錯誤を通して発見できるようにする。単元の最後には、てこの仕組みを使って考える活用課題や、日常生活の中にてこの仕組みがたくさん使われていることを見つけるようにする。

貸出可能教材

- ・大型てこ実験機(3セット)
- ・実験用てこ(4セット)

研修公開資料

- ・ワークシート1～6
- ・市教委¥06 理科教育センター¥00 研修資料公開¥01 学年単元別研修会¥小6「てこのしくみとはたらき」